<table>
<tr><td>テーマ</td><td>思春期の心と体の発達について、上手な関わり方について</td></tr>
<tr><td>活動時間</td><td>４５分</td></tr>
<tr><td>対象者</td><td>児童とその保護者</td></tr>
<tr><td rowspan="3">内
容</td><td>※ ファシリテーター自己紹介後、児童は別室へ移動し、アイスブレイクからワークまで、保護者とは別内容を実施する。

アイスブレイク
児童 「数かぞえ」
保護者 「みそ汁の具」

</td></tr>
<tr><td>ワーク（話し合い、共有）
保護者
ワーク１ 「子どもにありがとうと伝えたいとき」について話し合う。
ワーク２ ワーク１で出た意見を達成するために、「親としてできること、こどもにさせたいこと」を話し合い、共有する。

児童 「お家の人にありがとうを伝えたいとき、ありがとうと言いたいこと」について話し合う。</td></tr>
<tr><td>振り返り ※保護者と児童、合同で行う
① 保護者と児童のワークの様子をファシリテーターが発表し、保護者と自動で共有する。
② ファシリテーターによる声掛けを行う。</td></tr>
<tr><td>ファシリテーターの感想</td><td>・話し合いが進むにつれて、子どもに求めるばかりではなく、親としてできることを努力していこうと、保護者の意識が変わっていく様子が感じられた。
・児童と保護者が思っていることを共有したことで、よりよい親子のコミュニケーションへのきっかけづくりになったのではないか。
・授業参観に合わせて実施したため、保護者の出入りがあったが、サブファシリテーターの声かけや誘導で混乱はなかった。</td></tr>
</table>